

お掃除と手入れのコツをご紹介します！

どんなに上手にデザインされた家でも気持ち良く住み続けるためには維持管理が欠かせません。プロに頼んで点検整備をする必要がありますが、その前に毎日の使い方に始まり簡単な掃除によって家を長持ちさせることができます。綺麗に住まい続けるためにも知っておきたい**掃除と手入れ**のコツをご紹介します。

人が住むことによって家は傷みにくくなると言われます、反対に家が汚れる理由の多くも住む人が原因になっています。例えば家のホコリのもとになっているのは6割弱が繊維質のものです。つまり衣類やタオルなどから発生しているものです。更に3割弱が土・砂です、気密性だけではなく人の出入りや服などに付着して家の中に侵入してきたものです。他に花粉や排ガスも空気中に漂っています、人の髪や皮膚の一部、更にはペットの毛などが複雑に絡み合って部屋の隅に溜ります。家の各部位により汚れの種類も様々です。主な部位ごとの汚れの内容を右の表にまとめました。一言で掃除や手入れと言っても様々な種類があれば、その対処の仕方も違います。基本的にはこま

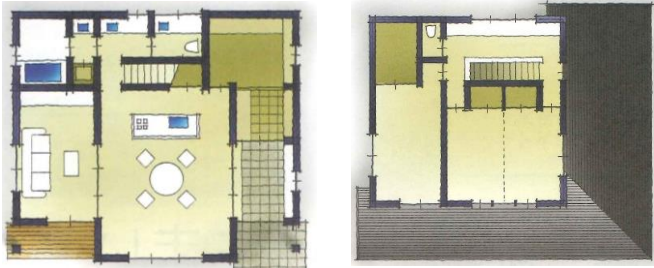
	液性 PH	洗剤の種類				
		酸性 0-3	弱酸性 3-6	中性 6-8	弱アルカリ性 8-11	アルカリ性 11-14
玄関	泥・砂					
	ホコリ					
リビング	綿ホコリ					
	食品カス					
ダイニング	手あか					
	タバコのヤニ					
居室	綿ホコリ					
	手あか					
キッチン	油汚れ					
	こげつき					
洗面所	水あか					
	カビ					
トイレ	水あか					
	尿石汚れ					
浴室	鉄サビ					
	石けんカス					

快適住まいの家学

めに掃除することが大切ですが、そうもいかないのが現実です。汚れが溜ってしまうと市販の洗剤を使うことになり、その場合汚れの種類によっても的確な洗剤を使わないと効果が得られません。普通の汚れは中性洗剤でOKですがしつこい汚れは液性の高いものを使います。表を参考に部位ごとに適した洗剤をお奨めします。油汚れやカビ系はアルカリ性を水あかや石けん系は酸性になります。同じ部位で両方を使う際は注意が必要です、混ぜてしまうと塩素ガスが発生し大変危険です。また、材質との相性も考慮が必要です、無塗装の木材に化学雑巾はシミの原因になります、ステンレスに対しスチールウールやプラスチックに対し粉末クレンザーを使うと表面に傷が付きま

次に家の中で最も汚れやすい**キッチン**のお手入れです。揚げ物や炒め物の油跳ねは1m四方に飛んでいますので、調理中も含めまだ温かいうちにキッチンペーパーなどで拭き取ることが一番のコツです。水拭きした後の水も拭き取っておくと汚れが溜りません。**換気扇**掃除は溜った油分が樹脂化して固まり頑固な汚れになりますので、数カ月一度つけおき洗い用洗剤で掃除をお奨めします。最近ではフィルターで次は**浴室**や**洗面**のお手入れです！どちらも汚れの多くは石けんかすです。やはり残り湯が温かい内に専用の洗剤などで、こまめに掃除することに限ります。目地が黒ずんだりプラスチックの部分がピンク色になるのはカビが原因です。市販のカビ取り剤が有効ですがアルカリ性なので注意しましょう。また、水滴に空気中の塵埃が付着しこびりついて落ちにくくなりますので洗面であれば水滴を綺麗にふきとる、浴室であれば換気扇をしばらく回し早目に乾燥させることを心がけます。最後に**トイレ**のお手入れです！世界に誇る先進的な日本のトイレも毎日のお掃除が不可欠です、ここでは最も気づき難い男性小用時の飛び跳ね対策です。小用後に必ず床・壁を拭き掃除するか座って用を足すようにしましょう！上手に手入れしながら住まいの価値を高めて行きたいです。

気になるポイント



1階/22.1坪 2階/15.3坪 TOTAL/37.4坪

昔の日本の家の良さ

家の中心に15畳を超える空間がある間取りです。囲炉裏のように料理の周りに家族が集まります。この空間があれば他の部屋は多少小さくても良いのです。あとは様々な物を収納する所があれば使いこなせます。



キーワード「電力の小売り自由化」Vol.2

前号に引き続き2016年4月から実施される「電力の小売り自由化」で新しく登場するサービス「ネガワット(節電)取引」についてお知らせします。現在交換が進んでいるスマートメーターにより各家庭の電力使用料が1ヶ月ごとにまとめられていたものが30分ごとに分るようになります。そのデータの蓄積により特定の日の特定の時間帯の使用量が予測可能になります。その予測を基に節電をお願いするために消費者と電力会社との間で節電のとりまとめをするアグリゲーターと呼ばれる会社が誕生します。アグリゲーターは地域の消費者の中から節電取引の会員を組織し、例えば某電月3日の12時間10万KWに参加した組織化します。力会社が8時~3時の節電をアグリゲーターに依頼します、アグリゲーターは会員の中から節電に協力してくれるメンバーを募ります、そして当日本日に10万KWの節電が達成できるとアグリゲーターは電力会社から報酬を受け取りそれを参加メンバーに分配します。こんな感じでネガワット取引が成立して行きます。外向けにはスマートメーターがあれば把握できますが、住んでいる人が自分の家の電力使用状況を時間帯ごとに調べたり、節電のための機器制御・太陽光発電や蓄電池の制御などを行うにはHEMSと呼ばれるシステムが必要です。国は2030年までに全世界にHEMS導入を推進しています。これから新築されたりリフォームされる場合には、将来を見据え是非HEMSの検討をされると良いのではと思います。

ちょっと得する話

キーワード「ローボルトガーデンライト」

最近では庭工事をする際、ガーデンライトが標準的に使われるようになりました。一番の要因は電気工事の資格が無くても設置できる、ローボルトガーデンライトが普及したことによります。ローボルトは低電圧なので人にも安全です、このシステムは万が一断線しても感電したり、住宅側の漏電ブレーカーが落ちたりしません。電気工事の資格が無くても扱えることが出来るので、庭工事の職人が施工することが出来ます。過密な現場スケジュールの中、電気屋さんを手配する必要もなく時間の節約になります。このローボルトの工事は、不完の入ったドでの接続でも接続出いところで

全シリコンライコン簡単にどこきるのが良す。メンテナンスも簡単で庭の成長に合わせて住まい手が自由に、取り換えや移動が出来ます。ガーデンライトは暮らしに温かさを作り、水とともに揺らぎをもたらしてくれます。庭に明りがあることは、とても暮らしが温かくまたメルヘンの世界を広げます。夕方から庭に出たくなります。欧米のあの美しい家と庭の夜のガーデンライトの宴を是非お試しください！と思います。ソーラーライトより明るく長時間点灯出来ます、コントローラー(トランス/変圧器)+ジャンクション(分岐盤)+延長コード+照明器具でDIYにて簡単取り付けが可能です。更に分岐コードを増やしていくと30~40灯接続が可能になります。照度センサーをつけて自動点灯も出来ます。手軽にお庭のライトアップを楽しめます！

家づくり庭づくり